

誤った組織に出現する仮想アプライアンスのトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[概要](#)

[解決方法](#)

はじめに

このドキュメントでは、誤った組織に出現する仮想アプライアンス(VA)をトラブルシューティングする方法について説明します。

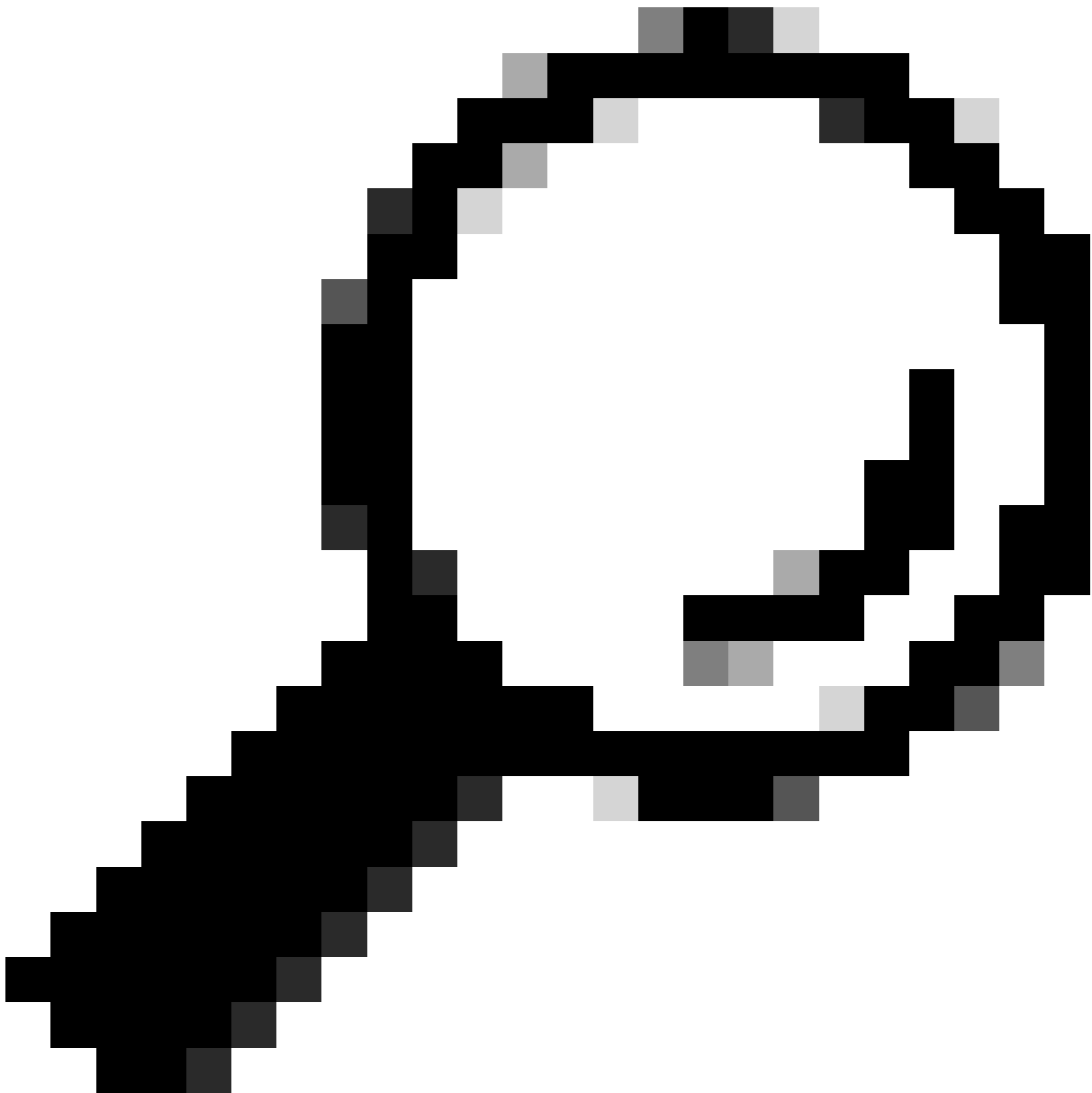
概要

この記事は、Multi-OrgおよびMSPコンソールのユーザが仮想アプライアンスを導入したが、意図した顧客組織にアプライアンスが表示されない場合を対象としています。レポートデータと最近導入された仮想アプライアンスは、マルチ組織またはMSPコンソールで管理されている別のお客様のダッシュボードに表示できます。

解決方法

この問題は、通常、仮想アプライアンスの導入時にダウンロードしたコンポーネントを再利用することで発生します。ダウンロードしたコンポーネントは顧客組織ごとに一意であり、コンポーネントの生成元の組織に登録されます。

導入後に仮想アプライアンスの登録場所を変更することはできません。導入を再度開始する必要があります。



ヒント：次の手順に進む前に、ユーザがサービスの中断を経験しないように、DHCPサーバーがローカルDNSサーバに対するDNS解決を指していることを確認してください。

-
1. 仮想アプライアンスが導入されている顧客の組織を特定します。仮想アプライアンスが不明な場合、または見つからない場合は、[サポート](#)にお問い合わせください。
 2. VMホストマシンの仮想アプライアンスの電源をオフにします
 3. VMホストマシンからの仮想アプライアンスの削除
 4. 顧客組織のダッシュボードから仮想アプライアンスを削除する

これらの手順が完了したら、仮想アプライアンスを導入する担当者は、該当するお客様の組織のダッシュボードにアクセスし、そこからコンポーネントをダウンロードして、[仮想アプライアンスを再導入する](#)必要があります。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。